

## 第二十二回公開シンポジウム開催のお知らせ

共催：メディカル・マネジメント・プランニング・グループ (株)川原経営総合センター

医療経済フォーラム・ジャパンは、医療経済学の深耕、医療経済学の若手研究者の育成、調査研究及び政策提言を目的とし、2001年4月24日、加藤寛氏、水野肇氏、川原邦彦氏を中心として設立されました。各界の錚々たる有識者から構成される正会員を中心に、隔月で定例研修会、また例年10月には公開シンポジウムを開催しております。

今般、会場参加及び Zoom でのオンライン参加の併用にて、下記の通り企画いたしました。各位におかれましては、ご参加くださいますようお願いを申し上げます。

## テーマ：災害時の医療のあり方

わが国の災害医療体制は、阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震をはじめとする数々の自然災害を乗り越えながら、一歩ずつ発展を遂げてきました。2011年の東日本大震災後には「災害医療等のあり方に関する検討会」が開かれるなど、災害時に実効性のある医療体制確立の検討が継続的に進められてきました。

しかし、2024年1月1日に発生した能登半島地震は、わが国における災害医療体制の新たな課題を浮き彫りにしました。今回の地震では水・電気・建物・道路・通信といった重要な生活インフラが大きな被害を受け、医療機関でも人的・物的被害があったことにより、お年寄りや障害者など、支援を必要とする方々が特に厳しい状況に置かれました。少子高齢化が急速に進むわが国において、災害に遭われた方々の生活を支える医療体制と医療機関の事業継続計画（BCP）をどのように構築すべきか、早急な対策が望まれています。

今回は、令和6年能登半島地震で大きな被害に見舞われながらも、「災害でも医療を止めない！」を合言葉に能登地方の地域医療を力強く支える恵寿総合病院（石川県七尾市）の神野正博理事長より基調講演を頂いたのち、シンポジウムでは斯界の有識者を迎え、過去の災害の教訓からみた災害医療のあり方や課題について徹底討論いたします。

日時	2024年10月17日(木)	13:00～受付 13:30～開始 16:30 終了	会場	ホテルイースト21 東京1階「イースト21ホール」 東京都江東区東陽6-3-3 TEL.03-5683-5683(代) ※ZoomによるLIVE配信もいたします
参加費	1名様につき11,000円(税込) ※振込期限：10/8(火) 振込先：三井住友銀行／新橋支店(普) 1811636 医療経済フォーラム・ジャパン 事務局長 川原文貴 ※振込手数料はご負担願います。 【会場ご参加の方】10/15(火)を目途に参加証をメールにて送付申し上げます。 【Zoomご参加の方】10/15(火)を目途に資料及びZoom接続のご案内をメールにて送付申し上げます。			

## プログラム

基調講演 13:35～14:20	基調講演：社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長	神野 正博 先生
	座長：学習院大学長、当フォーラム会員	遠藤 久夫 先生
シンポジウム 14:25～16:30	シナジスト：厚生労働省 医政局 地域医療計画課長	中田 勝己 先生
	※順不同 公益社団法人日本医師会 副会長	茂松 茂人 先生
	公益社団法人石川県看護協会 会長	小藤 幹恵 先生
	一般社団法人日本災害医学会 代表理事	本間 正人 先生
	社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 院長	中尾 浩一 先生
	質疑応答：	

※尚、都合によりプログラム・講師陣等が変更となる場合がございますので予めご了承ください。定員がございますので、早めにお申し込みください。

※参加者には(公社)日本医療経営コンサルタント協会の履修認定時間(3.0時間)が認定される予定です。

【お申し込み】<締切：10/7(月)>

下記ウェブフォーム、またはメールにてご出欠をお知らせください。

URL：<https://forms.gle/oCqJBWdz5Tx7itXb7> ※右のQRコードからもアクセス可能です

※メール (secretary@healtheconomics.gr.jp) でお申し込みの際は、「シンポジウム(会場参加・Zoom参加)」

「参加者名・所属・TEL・メールアドレス」「医コン会員の方は会員番号」を明記してください。



問い合わせ先：医療経済フォーラム・ジャパン事務局<株)川原経営総合センター内>

〒140-0001 品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー TEL.03-5422-7670(代) FAX.03-5422-7617